

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学		
教科	数学B	単位数 単位	学年・コース・組 高校3年1組
使用教科書	高等学校 数学B(数研出版)		
副教材等	3TRIAL 数学B (数研出版)		

1.学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2.学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分	ノート提出 第1学期中間考査	10月	5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における図形 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項、2 等差数列 3 等差数列の和、4 等比数列 5 等比数列の和 6 和の記号 Σ 7 階差数列 8 いろいろな数	ノート提出 第2学期中間考査
5月			11月		
6月	4 ベクトルの内積 第2節 ベクトルと平面図形 5 位置ベクトル 6 ベクトルの図形への応用 7 図形のベクトルによる表示		12月	第3節 漸化式と数学的帰納法 9 漸化式 10 数学的帰納法	
7月		1月	高校3年生は1月から家庭学習日になるため登校なし		
8月		2月			
9月	第2章 空間のベクトル 1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3.評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・理解 ② 表現・処理 ③ 数学的な見方や考え方 ④ 関心・意欲・態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

- ① 上記4観点に沿った定期考査
 ② 授業中に実施する小テスト
 ③ ノート提出

① を評価の70% ②③で評価の30% として成績をつける。

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学				
教科	数学B	単位数	単位	学年・コース・組	高校3年4・5・6組
使用教科書	新編 数学B(数研出版)				
副教材等	3TRIAL 数学B (数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	ノート提出	10月	5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における図形	ノート提出 第2学期中間考査
	1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分			第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1 数列と一般項、2 等差数列 3 等差数列の和、4 等比数列	
	5月			第1学期中間考査	
6月		第1学期期末考査	第3節 漸化式と数学的帰納法 9 漸化式 10 数学的帰納法		ノート提出 第2学期期末考査
	7月		7 図形のベクトルによる表示	11月	
8月			12月		
9月	第2章 空間のベクトル 1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	ノート提出	1月		
			2月		
			3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・理解 ② 表現・処理 ③ 数学的な見方や考え方 ④ 関心・意欲・態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

- ① 上記4観点に沿った定期考査
② 授業中に実施する小テスト
③ ノート提出

① を評価の70% ②③で評価の30% として成績をつける。

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学		
教科	数学B	単位数 単位	学年・コース・組 高校3年10組
使用教科書	最新 数学B(数研出版)		
副教材等	パラレルノート 数学B (数研出版)		

1.学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2.学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 1 ベクトル 2 ベクトルの和	ノート提出 第1学期中間考査	10月	5 位置ベクトル 6 空間図形への応用 第3章 数列 第1節 数列とその和 1 数列	ノート提出 第2学期中間考査
	3 ベクトルの差 4 ベクトルの実数倍 5 ベクトルの成分 6 ベクトルの成分と演算			2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列、5 等比数列の和 6 和の記号 Σ 7 自然数の2乗の和 8 いろいろな数列の和	
5月	7 ベクトルの内積 8 内積の性質 第2節 ベクトルと平面図形 9 位置ベクトル 10 ベクトルと図形 11 ベクトル方程式	ノート提出 第1学期期末考査	11月	9 階差数列 第2節 漸化式と数学的帰納法 10 漸化式 11 数学的帰納法	ノート提出 第2学期期末考査
	6月			12月	
7月			1月	高校3年生は1月から家庭学習日になるため登校なし	
8月			2月		
9月	第2章 空間のベクトル 1 空間の座標 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3.評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・理解 ② 表現・処理 ③ 数学的な見方や考え方 ④ 関心・意欲・態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

- ① 上記4観点に沿った定期考査
② 授業中に実施する小テスト
③ ノート提出

① を評価の70% ②③で評価の30% として成績をつける。

1年間の評定は、第1学期・第2学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学				
教科	数学Ⅲ	単位数	7単位	学年・コース・組	高校3年2・3組
使用教科書	高等学校 数学Ⅲ(数研出版)				
副教材等	4プロセス 数学Ⅲ(数研出版)				

1.学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2.学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第4章 極限 第2節 関数の極限	確認テスト	10月	復習と発展	確認テスト 2学期中間考査
	第5章 微分法 第1節 導関数	確認テスト			
	第2節 いろいろな関数の導関数	確認テスト			
5月	第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分	確認テスト 1学期中間考査	11月	復習と発展	確認テスト
	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用	確認テスト			
6月	第2節 いろいろな応用	確認テスト	12月	復習と発展	確認テスト 2学期末考査
	第7章 積分法とその応用 第3節 積分法の応用	確認テスト			
7月	復習と発展	確認テスト 1学期末考査	1月		
8月			2月		
9月	復習と発展	確認テスト	3月		

3.評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います。

- ① 知識・理解 ② 表現・処理 ③ 数学的な見方や考え方 ④ 関心・意欲・態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- i 上記4観点に沿った定期考査
 - ii 年間計画にある確認テストへの取り組み方
 - iii 課題レポート
- i を評価の70% ii と iii で評価の30% として成績をつける。

また、1年間の評定は、年間を通じて上記の内容を総合的に判断して決定します。

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学		
教科	数学Ⅲ	単位数2単位	学年・コース・組 第3学年・8・9組
使用教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）		
副教材等	3TRIAL 数学Ⅲ（数研出版）		

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 複素数平面 1. 複素数平面・極形式 2. ド・モアブルの定理 3. 複素数と図形 第2章 式と曲線	ノート提出	10月	3. いろいろな応用 第7章 1. 不定積分	ノート提出 第2学期中間考査
5月	1. 放物線・楕円・双曲線 2. 2次曲線の平行移動 3. 2次曲線と直線 4. 曲線の媒介変数 5. 極座標と極方程式	ノート提出 第1学期中間考査	11月	2. 定積分 3. 面積 4. 体積	ノート提出
6月	第3章 関数 1. 分数・無理関数 2. 逆関数と合成関数 第4章 極限 1. 数列の極限 2. 関数の極限	ノート提出	12月	高校3年生は1月から 家庭学習日になるため 登校なし	第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第5章 微分法 1. 導関数 2. 導関数の応用	ノート提出	3月		

※高校3年生は第4回定期考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 関心・意欲・態度
- ② 数学的な見方や考え方
- ③ 数学的な技能
- ④ 知識・理解

このため、評価は、具体的には次のものを対象とし

定期考査・授業態度・提出物・小テスト

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学			
教科	数学研究	単位数2単位	学年・コース・組	高校3年2、3、8、9組
使用教科書				
副教材等	河合塾 全統記述模試 過去問題			

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

問題演習を通して、大学を受験するために必要となる「数学の本質」を理解し入試問題に対応する能力を養成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	河合塾 第1回全統記述模試 過去問研究	課題レポート6回	10月	河合塾 第3回全統記述模試 過去問研究	課題レポート4回
5月			11月	大学入試 過去問研究	
6月	河合塾 第2回全統記述模試 過去問研究	課題レポート6回	12月		
7月			1月		
8月			2月		
9月			3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・理解 ② 表現・処理 ③ 数学的な見方や考え方 ④ 関心・意欲・態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

- ① 上記4観点に沿った定期考査
② 課題レポートへの取り組み方

- ① を評価の70% ②③で評価の30% として成績をつける。

1年間の評定は、第1学期・第2学期を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します